

[illegible]

## 1. 取り付ける

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。

1 車を安全で平坦な場所に停める。  
パーキングブレーキをかけ、エンジンキーを抜く。  
おおよそのレイアウトを決め、コードの長さが十分か確認する。

2 取り付け。

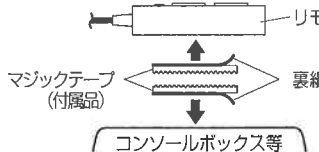
### ●推奨取り付け位置

リアのラゲッジ・スペースに取り付けることで、豊かな低音が楽しめます。



### ●リモコンの取り付け方法

- リモコン底面にマジックテープのやわらかいほうを貼ります。
- 取り付け位置（コンソールボックス等）にマジックテープのざらざらしたほうを貼ります。



- 警告**
- 助手席エアバッグの近くにリモコンを取り付けない。不適切な取り付けをしますと、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、事故・ケガの原因になります。
  - ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所には、取り付けない。事故・ケガの原因になります。

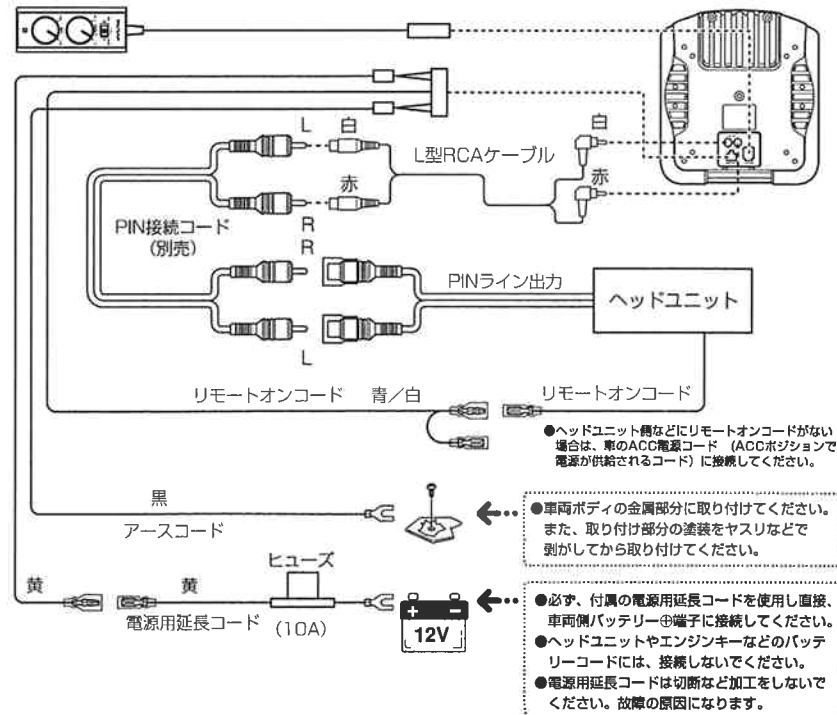
## 2. 接続する

- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続前に接続先をチェックしてください。

1 バッテリー端子を外す。

2 接続する。

### ●PIN入力接続の場合



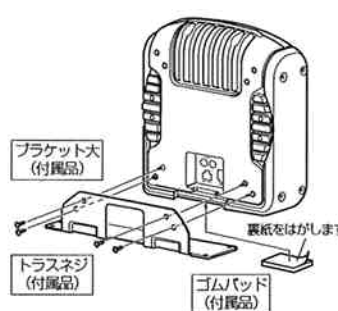
### ●取り付け例

縦置き



- 1 車への取り付け場所を決めます。
- 2 置き方を決めます。  
縦置き（A、B）、横置きのいずれかを選びます。
- 3 付属のゴムパッドを製品下面中央に貼り付けます。  
（※「縦置き-A」取り付けの場合のみ使用します。）
- 4 付属ネジを使用し製品に付属ブラケットを固定します。
- 5 車への取り付けネジ位置に印をつけます。
- 6 ドリルで固定用ネジの下穴（φ3.5mm）を開けます。
- 7 付属ネジを使用し本機を車に固定します。

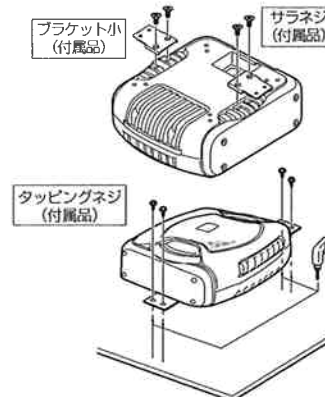
《縦置き-A》



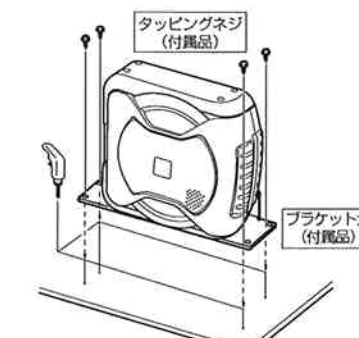
横置き



※取り付け手順は「縦置き」と同様に行います。



《縦置き-B》



## 3. 確認する

1 コード類を固定する。

**注意**

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

2 バッテリー端子を接続する。

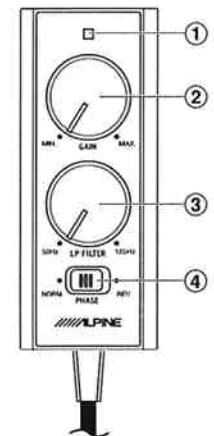
3 エンジンキー/カーオーディオ電源をONにして、本機の動作が正しいこと（音が正しく出ているかなど）を確認する。

4 ホーン/ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

## 4. 調整する

### ●過大入力に注意

音が歪（ひず）んだり、異音（ボコボコ、ベコベコという音）が出るような状態ではスピーカーへの入力が大きすぎます。（過大入力）  
スピーカーに過大入力を続けると、性能が落ちたり、壊れたりしてしまいます。  
過大入力にならない範囲でご使用ください。



- 1 パワーインジケーター：電源ONで点灯します。
- 2 入力感度調整ボリューム（GAIN）：音の大きさを調整するノブです。MINにすることで小さくなります。
- 3 ローパスフィルター周波数切替（LP FILTER）：音の再生帯域を調整するノブです。他のスピーカーとのバランスを調整することができます。
- 4 位相切替スイッチ（PHASE）：音の遅れを調整するノブです。他のスピーカーと音のタイミングを合わせるができます。正相（0度、NORM.）と逆相（180度、REV.）を切りかえられます。

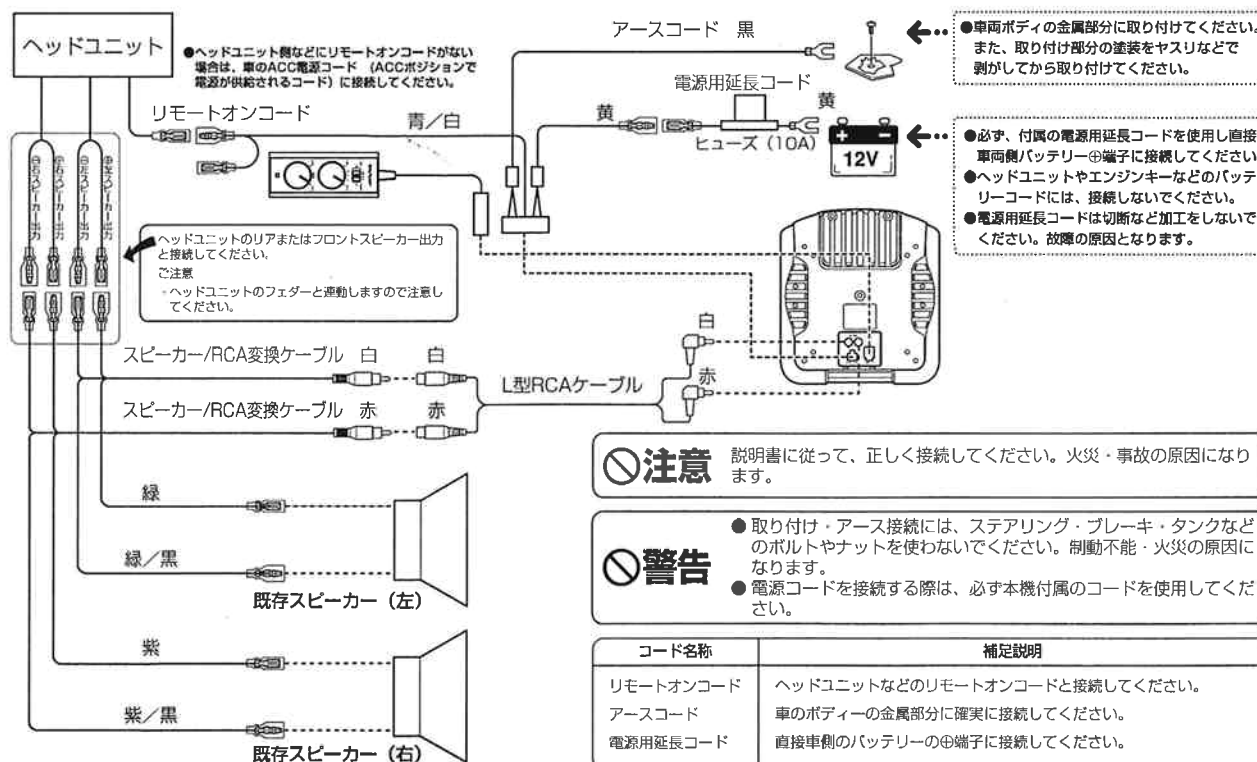
### ●アルパインが推奨する調整方法

- 1 入力感度調整ボリューム（GAIN）をMIN、位相切替スイッチ（PHASE）をNORM.、ローパスフィルター周波数切替（LP FILTER）をセンターに設定してからシステムの電源をオンにする。
- 2 ヘッドユニットなどのTREBLE、BASSをセンターの状態にして、音量を普段聴いている大きさにする。  
この時の音楽ソースとしては、普段聴いているものを使うと調整がやりやすいでしょう。
- 3 入力感度調整ボリューム（GAIN）をMINからゆっくり回し、システム全体でバランスがとれる位置まで入力感度調整ボリューム（GAIN）を調整する。  
入力感度を上げすぎると音が歪むときがあります。  
また、ヘッドユニットの音量が大きくなっても音が歪むことがあります。  
他のスピーカーからも歪みが出ていないか確認しながら調整を行ってください。  
スピーカーシステム全体が歪んでいるような場合は、ヘッドユニットの音量を小さくしてください。
- 4 ローパスフィルター周波数切替（LP FILTER）を調整し、他のスピーカーとのバランスが最良となるポイントに調整する。
- 5 LP FILTERの設定が変化すると、音量も聴感上変化します。手順3、4を繰り返して、最良のポイントに調整する。
- 6 位相切替スイッチ（PHASE）で位相を調整する。  
スピーカーの取付位置、車の形状によって位相の最良となるポイントは異なります。他のスピーカーと本機の音が最も大きくなる方を選んでください。  
運転席に座った状態で、NORM.（正相）の位置とREV.（逆相）を切りかえてみて、良い方を選びます。



- スピーカーコードの①側が左右共通になっている車両には、使用できません。
- 車両雑音から守るために
- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
  - 電源用延長コードとPINコードは離す。
  - 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
  - ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。
- コンピューターが搭載されている車は、バッテリーの端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーの端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 不明な点はお買い上げ店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

### ●スピーカー入力接続の場合



**注意**

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。

**警告**

- 取り付け・アース接続には、ステアリング・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。
- 電源コードを接続する際は、必ず本機付属のコードを使用してください。

| コード名称     | 補足説明                          |
|-----------|-------------------------------|
| リモートオンコード | ヘッドユニットなどのリモートオンコードと接続してください。 |
| アースコード    | 車のボディの金属部分に確実に接続してください。       |
| 電源用延長コード  | 直接車両側のバッテリーの端子に接続してください。      |